

精魂込めて



～ 二学期 始業式 式辞 ～

おはようございます。長い夏休みが終わり、こうして全校生徒の皆さんとともに、二学期の始業式を迎えることができることを大変うれしく思います。

まず、この夏、日本各地で自然災害に見舞われ、多くの方々が苦しみの中にあります。熊本地震によって今なお避難生活を続けておられる方々がおられます。また、千葉県では豪雨により大きな被害が発生し、日常の生活を取り戻そうと懸命に努力されている方々がおられます。

私たちは、こうして当たり前のように学校へ来て、友達と語り合い、学ぶことができます。しかし、その当たり前の日常は決して当たり前ではありません。災害によって大切なものを失った方々のことを思うとき、今ここにいること、一緒に学校生活を送れることのありがたさを改めて感じます。今日はまず、無事に全員がそろって二学期を迎えられたことに感謝したいと思います。皆さん一人一人の命が守られ、再びこの川之江南中学校で共に過ごせることを、本当にうれしく思います。

さて、一学期の終業式で私は、高校野球の選手宣誓にあった「私たちは高校野球を愛しています。」という言葉を紹介しました。そして、「私は川之江南中学校を愛しています」と胸を張って言える人になってほしいという話をしました。

皆さんにとって、この夏休みはどのような時間だったでしょうか。部活動に打ち込んだ人。勉強に励んだ人。家族との時間を大切にしたりした人。地域の行事に参加した人。思うような結果が出なかった人もいたかもしれません。苦しい思いや悔しい思いをした人もいるでしょう。しかし、その経験の一つ一つが皆さんを成長させています。

本当に大切なものは、楽しいときだけ好きでいられるものではありません。うまくいかないことがあっても、思い通りにならないことがあっても、それでも向き合い続けようと思えるものです。災害に遭われた方々も、困難の中で一步步前へ進もうとされています。その姿から私たちは、「生きる力の力」や「支え合うことの大切さ」を学ぶことができます。

二学期は、運動会や文化祭、新入大会、合唱など、多くの行事があります。仲間と協力しながら何かを創り上げる中で、思い通りにならないこともあるでしょう。意見がぶつかることもあるかもしれません。けれども、その一つ一つを乗り越えた先に、本当の達成感や喜びがあります。そして私は、この二学期が終わる頃、皆さんが今よりさらに成長し、「やっぱり私は川之江南中学校を愛しています。」そう胸を張って言えるようになってほしいと思います。

そのために、自分自身を大切にすること。仲間を大切にすること。そして、今ある日常や命に感謝することを忘れないでください。二学期も、共に生き合い、支え合いながら、一人ひとりのいのちを輝かせていきましょう。

これで、二学期始業式の式辞とします。